

# 資料1 Variety Greetings

☆ “Good morning, class.(T) → Good morning, Mr.(Ms.)～.(S)” の後着席させ、個別に指名して挨拶を行う。

## 板書に活きる Q&A

- What's the date today? → 板書  
→ Who was born in 月名? (全体に)
- How's the weather? → 板書  
→ What weather do you like?  
→ Why?

## 昨日の出来事を聞く Q&A

- What TV program did you watch last night?  
→ Who watched that? (全体)
- What subject did you study yesterday?  
→ Do you like 教科名?  
→ Why?

## 今日の出来事を聞く Q&A

- What did you eat for breakfast?  
→ Who ate 食材名? (全体)
- How are you today?  
→ What is good thing for you today?
- What are you going to do after school?  
→ What is your fun after school? (全体)

## 最近のニュースを聞く Q&A

- Please tell me about news.  
→ Why do you think about that?
- Please tell me about your news.  
→ How do you feel about that?
- Did you watch yesterday's world cup game?  
→ Who watched that? (全体)

## ポイント

- ① 儀礼的挨拶は日本で重んじている素晴らしい文化のひとつなので、最初と最後に必ず行ったほうがいいと考える。
- ② 個別の質問から全体へと広げていくように習慣づけておくと、教室全体が会話に集中する。

## 前回の授業を思い出す Review Q&A

- What did you study before?  
→ Please tell me one sentence you learned before.
- What activity did we do last class?  
→ Do you remember? (全体)  
→ Let's do again now!

## 資料2 Let's sing a song

### 【なぜ歌なのか】

私達が英語を好きになったきっかけを思い出してみると、「外国の人と話してみたい」「映画の台詞を英語のまま理解したい」「英語の歌を歌えるようになりたい」などであった。英語を学ぼうとするモチベーションの根幹である。しかも、英語を使うことが「かっこいい」ということが大切であったはずだ。私自身、中学生の時分に Beatles の歌を訳し、真似て歌うことをきっかけとして、英語の成績が2から5になった。その経験が私にとっての英語教育の根幹となり、今に至っている。自分の経験則を指導に活かすのは、大変説得力がある。

### 【なぜ Lisa Loeb の『Stay』なのか】

Cambridge 大学 Downing College の Professor Jacky 曰く、

- ・ まず、曲が良い。そして、発音がすばらしい。
- ・ 歌の中で使われている語彙が比較的簡単である。
- ・ 語と語のつながりが分かる。
- ・ 圧倒的語彙量ではあるが、リズムとメロディーで覚えられる。
- ・ 英語を母国語としない人々が、英語に触れて意欲を高めるのに最適な曲である。



この曲以外に英語が上達する英語の歌は・・・

- ① Beatles の曲全般  
※ 発音が素晴らしい
- ② Last Christmas by WHAM  
※ ストーリーがある
- ③ 流行歌のサビ  
※ 聞き慣れている、口ずさめる

## 3年英語 Music "STAY" 歌詞

you say I only hear what I want to.  
(ユーセイ アイオンリーヒア ワラワントゥ)

you say I talk so all the time so.  
(ユーセイ アトクソーロザタイ ソー)

and I thought what I felt was simple,  
(エナソウ ワラフェル ワズシンポー)

and I thought that I don't belong,  
(エナソウ ザラドンベロン)

and now that I am leaving,  
(エナウザ アイアムリーベン)

now I know that I did something wrong 'cause I missed you.  
(ナワノウ ザラディド サムシンロ コザミッシュー)

yeah, I missed you.  
(イエー アミッシュー)

and you say I only hear what I want to  
(エンユーセイ アオンリヒーワラワントゥ)

I don't listen hard,  
(アドンリソンハード)

I don't pay attention to the distance that you're running  
(アイドンペイアテンション トウザディスタンザチョランニン)

to anyone, anywhere,  
(トエニワンエニウェア)

don't understand if you really care,  
(ドンアンダスタン イフユリリケア)

I'm only hearing negative: no, no, no but.  
(アイムオンリヒリンネゲリブ ノーノーノーバット)

so I turned the radio on, I turned the radio up,  
(ソアイ タザレディオ オンナタザレディオアップ)

and this woman was singing my song:  
(アンディスウマンワズシギマッソン)

lover's in love, and the other's run away,  
(ラバジンラブ アンジアザラヌウェイ)

lover is crying 'cause the other won't stay.  
(ラバリズクライ コジアザウォンステイ)

some of us hover when we weep for the other who was  
dying since the day they were born well well,  
(サモブハバ ウエンウィウイープ フォジアザフワズ ダイシサディ  
ゼイアボノウェル ウエル)

this is not that I think that I'm throwing, but I'm thrown.  
(ディシナッザッ アスインザラスロイン バラムスロウン)

and I thought I'd live forever, but now I'm not so sure.  
(アナソウリフオレバ バナウナソショ)

you try to tell me that I'm clever,  
(ユトライトウテミザラクレバ)

but that won't take me anyhow, or anywhere with you.  
(バザウォンテクミエニハウ オエニウェア ウィズユー)

you said that I was naive, and I thought that I was strong.  
(ユセザラワナイーベー アソウザライワズスロトンノー)

I thought, "hey, I can leave, I can leave." Oh,  
(アソウヘイアキヤンリーアキヤンリー オー)

but now I know that I was wrong, 'cause I missed you.  
(バナワノーザッアワズロング コザミスチュー イエー ミスチュー)

you said, "You caught me 'cause you want me and one  
day you'll let me go."  
(ユセッチュ コミモジュウォミ アンディユレミゴ)

"you try to give away a keeper, or keep me 'cause you  
know you're just so scared to lose.  
(ユトライトウギブウェイキバ キミコジュヌユジャスゾ スケートゥルース)

and you say, "stay."  
(エンユセイ ステイ)

you say I only hear what I want to.  
(ユーセイ アイオンリーヒア ワラワントゥ)

日本語（カナ）はふつても構わないが、

語のつながりを大切にしたもので。最終的

には英語歌詞のみを見て歌い、その時に語  
のつながりに気付くことができるよう。



### 資料3 小中高の連携

#### 小学校とのリンク

- ・ 小学校の外国語活動で、2年間外国語に親しんできた子どもたちが、以前と違って具体的に何ができるようになって中学校に入学してくるのかを明確に把握することが急務である。書けないだけで、かなりの言語活動ができるようになって入学してくることを私たち中学校教師は知らなければならない。
- ・ 外国語活動で使った単語を、中学校の会話活動の中で積極的に使う。ただし、それらの単語については書くことまで求めない。あくまで小学校から続く帶活動としての取り組みである。
- ・ 中学校の学習とリンクしているものも多分にあるので、英語ノートをReviewとして活用する。例えば、英語ノート2の『Lesson 5 道案内をしよう』と、中学校2年生のSpeaking Plus3～道案内～には、共通する学びが非常に多く、小学校で親しんだ活動を素地として、大いに活かすことができる。

#### 高等学校とのリンク

- ・ 高等学校から中学校に求められているものを一言で言えば、「量」である。練習量、語彙量、文章量。現行の教科書のまま量を増やすというのは、大変難しい。そこで、中学校では未習の単語も積極的に活動の中に取り入れていく。量とは必ずしも「覚える量」だけではなく、「触れる量」と捉えた考え方からである。具体的な取り組みとしては、EEMC (English-English Meaning Check) などが中学校ではできる。
- ・ 高等学校で行っている学習方法を中学校の学習に取り入れる。例えば、現在は暗写を行わせている高等学校が多いと聞いているので、今井康人著の『英語力が飛躍するレッスン』を参考として、本校でも暗写に取り組んでいる。
- ・ 多読に取り組ませる。Oxford出版のReading Treeは多読に適しているが、高価で学校で揃えるにはハードルが高い。他には、実用英語技能検定4級・3級の長文や、高等学校の教科書は良質の英文が豊富である。何より安い。

# 小学校英語ノートと中学校 New Horizon English Course のリンク

英語ノート1	N H E C
世界の「こんにちは」を知ろう	1年 世界の言葉で "Hello" and "Thank you"
ジェスチャーをしよう	1年 Hello, English! 英語に合わせて動作をしよう
数で遊ぼう	1年 Word Box1 数字 1年 Unit5 ピクニックに行こう Part2.CDを何枚もってるの?
自己紹介をしよう	1年 Unit3 グリーン先生の初授業 Part1.自己紹介をしよう
いろいろな衣装を知ろう	1年 Unit5 ピクニックに行こう Part1.注文しよう 2年 Speaking Plus5 買い物
外来語を知ろう	1年 身のまわりの英語、単語
クイズ大会をしよう	1年 Unit4 日本大好き Part1.これは何?
時間割を作ろう	1年 Unit4 日本大好き Part2.好きな教科は何? 1年 Word Box2 曜日
ランチメニューを作ろう	1年 Unit4 日本大好き Part3.朝食は何? 3年 Speaking Plus2 食卓で

英語ノート2	N H E C
アルファベットで遊ぼう	1年 Hello, English アルファベット
いろいろな文字があることを知ろう	1年 Hello, English アルファベット
友だちの誕生日を知ろう	1年 Unit10 ナイアガラの滝 Part3.光の祭典 1年 Word Box3 月日
できることを紹介しよう	1年 Unit10 ナイアガラの滝 Part1 近況述べよう
道案内をしよう	1年 Speaking Plus2 道案内 2年 Speaking Plus4 道案内 3年 Speaking Plus3 道案内
行ってみたい国を紹介しよう	2年 Unit3 E-pals in Asia Dialog
自分の一日を紹介しよう	1年 Unit7 カナダの学校 Part2.今何時? 1年 Multi Plus2 わたしの一日
オリジナルの劇をつくろう	1年 Let's Read The Hungry Lion
将来の夢を紹介しよう	2年 Let's Read 1 A Magic Box 2年 Multi Plus1 わたしの夢

## 資料4 発問の作り方

### 1. 発問の種類

A 書いてある事実をそのまま尋ねる発問

- ① Yes-No Questions, T/F
- ② Wh-Questions
- ③ トピックをつかませる

※ 英語の意味を確認する補助発問

- ・ 単語や語句の意味を確認する
- ・ 指示語の表す内容を確認する

B 直接は書いていないが、文脈から推測できる発問

- ④ 状況をイメージさせる
- ⑤ 原因・理由をとらえさせる
- ⑥ 登場人物や筆者の心情を推測させる
- ⑦ 直接言及のない部分について推測させる

C 特に正答ではなく、書いてあることから自分で考える質問

- ⑧ 原因や理由を考えさせる
- ⑨ 物語や対話のその後を考えさせる
- ⑩ 自分の感想や意見を述べさせる

### 発問作りのメリット

※ 実際取り組んでの感想から

- ① 生徒の性格や状況、興味関心に即したQを考えることで授業が盛り上がる。
- ② 書いてある事実に関して、教科書で準備されている視点以外から捉え深く読み取ることがができる。
- ③ 特にBとCのQを考えることは、教師側からしても楽しいものであったり、BとCのQは生徒が大変くいつきの良かったものであった。上手に答えられない歯痒さが表現の意欲へつながる様子も見られた。

### 2. 発問 NHEC Unit2 The Shamisen Concert Reading for Communication

Review	<p>Who is the reporter?④ A: Takako Asakura B: Ann Green C: Maria Jones. D: Lisa Jones.</p> <p>Where is the concert held?④</p> <p>What is held in a big park?②</p> <p>What will begin soon?②</p> <p>How do you say "as you can see" in Japanese?③</p> <p>How many people are there?②</p> <p>How do you say "over" in Japanese?③</p> <p>How do you say "以下" in English?⑦</p> <p>What is the famous city festival in Japan?⑩</p> <p>One day is a concert. What are another day's events?⑨</p> <p>Is the concert popular?①</p> <p>Why do many people come to the concert?②</p> <p>When did the young girls come to the park?②</p> <p>Why did the young girls come here very early?⑤、⑥</p> <p>Who come to the stage of the concert?⑨</p> <p>What festival do you have in Kamaishi?⑩</p> <p>What kind of concert do you have in Kamaishi?⑩</p>
--------	--

## Unit 2 Reading for communication① (1 4 P)

3<sup>rd</sup> grade class: No. Name :

### Check new words

- continue
- crowded
- part
- concert
- popular
- reporter
- too full of people
- a performance given by musicians or singers
- not stop doing something
- job is to write about news events for newspaper, or tell people about them on television or on the radio
- liked by many people
- piece

Let's practice new words!

## 暗写

### The festival

(祭りは3日間続きます。)

### It's

(この地域の人たちにはとても人気があります。)

### These young girls

(こちらの女の子たちは今朝早くからここに来ています。)

18

Let's practice sentences!

#### 自己評価 ( Self Evaluation )

Good!

Bad...

1. Can you understand the report? A B C D

2. Can you write sentences? A B C D

3. What is today's goal? →→

# Unit 2 Reading for communication Homework

3<sup>rd</sup> grade class: No. Name :

What

Who

When

Where



Why

Other things...